

## 平成 29（2017）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成」 中間報告

団体名

二宮町・一色小学校区地域再生協議会

活動のテーマ

古民家を「さとやまクラフト・パーク」に

活動の対象地域

神奈川県/二宮町/一色小学校区

活動地域の概要

神奈川県西部（湘南地区の西端）にある二宮町の北部に立地。昭和 30 年代後半から 40 年代初めにかけて県住宅供給公社によって開発されたニュータウン（百合が丘、約 2,300 戸）を中心に、緑が丘（民間分譲住宅地）、一色（里山・農村集落）地区からなる。

ニュータウン地区をはじめ、地域全体で少子高齢化が進み、地区内人口は 10 年前に比べ 14% 減少、一色小学校の児童数は 10 年前比で半減の 245 人（平成 28 年 3 月末）している。高齢者比率も 40%弱と町内でも最も高くなっている。

団体設立経緯

平成 28 年 3 月の二宮町の総合戦略策定を契機に、地域住民、二宮町、県住宅供給公社が連携して同年 5 月に一色小学校区地域再生協議会を結成した。少子高齢化の進展の中でしばみつつある地域活力を復活させ、「もっと元気な住みよい町づくり」を目指している。

発足から 2 年目を迎えた 29 年度は学校連携、文化イベント振興、地域福祉、県住宅供給公社、古民家活用、公園・散策路の 6 部会を設けて各種事業を展開中。県住宅供給公社部会を除き、各部会ともメンバーの主力は地域住民、地域団体で、必要に応じて行政も参画している。

古民家を「さとやまクラフト・パーク」に——を手掛ける古民家部会は、農村集落にある古民家を拠点に、団地・ニュータウン地区住民と農村集落が一体になった事業を推進することで、新たな地域活力の創造を狙っている。

# 古民家クラフトプロジェクトの進捗状況

H29年10月28日作成

\*一色小学校区地域再生協議会古民家活用部会活動のち、ハウジングアンドコミュニティ財団から助成を受けている部分を「古民家クラフトプロジェクト」の名称で展開している。

\*進捗状況は助成申込書（3）活動内容とスケジュールに基づいて記載

## 1. 古民家サイトの設置運営

4月中に独自努力で古民家サイトを設置、古民家の利用申し込み、主催イベントの衆知などに活用している。

<https://www.furusatonoie-ninomiya.net>

## 2. 地域素材を活用した発酵茶やオリーブ茶の製造

発酵茶製造は7月半ばから8月初め、8月後半から9月中旬の2回にわたって実施。1回目は、通常の花葉をベースに、2回目は無農薬栽培のオリーブ茶をベースにした。

サンプル採取当番表①②及びオリーブ茶の試作についての別紙参照

このうち、先行事例の少ないオリーブ発酵茶については東京農業大学と共同開発契約を締結した。（協議会だより第17号参照）

これらについては、下期中にもう一度オリーブ発酵茶の製造に取り組み、東京農大の分析結果待って次年度以降の展開を検討する予定。



通常花葉での仕込み



試飲と検討会



オリーブ葉の摘み取り



オリーブ葉の仕込み



オリーブ発酵茶試飲



飲み比べ

### 3. ハーブ石鹸づくり

7月末、ふるさとの家で「ハーブ石鹸づくり」のイベントを開催。

午前、午後の2回開催し、約40名が親子連れで参加した。二宮町広報、協議会だよりなどで参加者を募集した。添付チラシ参照

以上